

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成30年11月22日(2018.11.22)

【公開番号】特開2017-73091(P2017-73091A)

【公開日】平成29年4月13日(2017.4.13)

【年通号数】公開・登録公報2017-015

【出願番号】特願2015-201540(P2015-201540)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/02 (2006.01)

G 0 6 F 3/041 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

G 0 3 B 17/02 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/02 3 4 0 A

G 0 6 F 3/041 5 0 0

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/225 B

H 0 4 N 5/225 A

G 0 3 B 17/02

【手続補正書】

【提出日】平成30年10月4日(2018.10.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

タッチ検出面に対するタッチ操作を検出する検出手段と、
前記タッチ検出面とは異なる位置の操作手段と、
タッチ操作と前記操作手段に対する操作のいずれもが第1の期間行われなかったことに
応じて、表示手段での表示を非表示とすることなく、タッチ操作に応じた機能の実行を制
限するロック状態に切り替えるように制御し、
前記ロック状態において、前記操作手段に対する操作を受け付けると、前記ロック状態
を解除してタッチ操作に応じた機能を実行する状態に切り替えると共に、前記操作手段に
対する操作に応じた機能を実行するように制御する制御手段と、を有することを特徴とす
る電子機器。

【請求項2】

前記制御手段は、タッチ操作と前記操作手段に対する操作のいずれもが、前記第1の期
間よりも長い第2の期間行われなかったことに応じて、前記表示手段の表示を非表示にす
るよう制御することを特徴とする請求項1に記載の電子機器。

【請求項3】

前記制御手段は、前記ロック状態において、前記操作手段に対する操作を受け付けると
、前記ロック状態を解除して前記タッチ操作に応じた機能を実行する状態に切り替えるよ
うに制御することを特徴とする請求項1または2に記載の電子機器。

【請求項4】

前記ロック状態において前記検出手段によってタッチ操作を検出すると、前記制御手段
は、前記ロック状態であることを示すガイダンスを表示するように制御することを特徴と

する請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 5】

前記ガイドスは、前記ロック状態を解除するための操作方法を含むことを特徴とする請求項 4 に記載の電子機器。

【請求項 6】

前記制御手段は、前記ロック状態ではない状態で前記表示手段に表示されたタッチボタンに対するタッチ操作に応じて、タッチされたタッチボタンに割り当てられた特定の機能を実行するように制御し、
前記ロック状態においては、タッチ操作に応じず前記特定の機能は実行しないように制御することを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 7】

前記制御手段は、前記ロック状態ではない状態で前記表示手段に表示された特定の設定項目の設定を変更するためのタッチボタンの表示形態を、前記ロック状態に切り替えたことに応じて、前記特定の項目の設定状態を示す情報表示のための表示形態に変更するように制御することを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 8】

撮像手段により撮像されたライブビュー画像を前記表示手段に表示するように制御する表示制御手段を更に有し、

前記制御手段は、ライブビュー画像を表示している撮影待機状態において、タッチ操作と前記操作手段のいずれもが前記第 1 の期間行われなかったことに応じて、前記表示手段でのライブビュー画像の表示を非表示とすることなく、前記ロック状態に切り替えるように制御することを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 9】

前記操作手段に対する操作に応じて前記撮像手段による撮像に関する設定を行う設定手段を更に有し、

前記制御手段は、前記ロック状態においても前記操作手段で受け付けた操作に応じて撮像に関する設定を行うように制御することを特徴とする請求項 8 に記載の電子機器。

【請求項 10】

前記制御手段は、前記ロック状態においても前記操作手段の 1 つであるシャッターボタンで受け付けた撮影指示の操作に応じて前記撮像手段で撮像を行い記録媒体に画像を記録するまでの一連の撮影処理を行うように制御することを特徴とする請求項 8 または 9 に記載の電子機器。

【請求項 11】

前記制御手段は、前記撮影待機状態とは異なる第 2 の状態においては、タッチ操作と前記操作手段に対する操作のいずれもが前記第 1 の期間行われなかったとしても前記ロック状態には切り替えないことを特徴とする請求項 8 乃至 10 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 12】

前記第 2 の状態は、画像を再生して表示している状態であることを特徴とする請求項 11 に記載の電子機器。

【請求項 13】

前記第 2 の状態は、ライブビュー画像が表示されない、当該電子機器の各種設定を行うメニュー画面を表示している状態であることを特徴とする請求項 11 に記載の電子機器。

【請求項 14】

前記制御手段は、前記ロック状態ではない状態で前記表示手段に表示されたライブビュー画像に対するタッチ操作に応じて、タッチされた位置に基づくオートフォーカス処理を行うように制御し、

前記ロック状態においては、前記表示手段に表示されたライブビュー画像に対するタッチ操作があってもオートフォーカス処理を行わないように制御することを特徴とする請求項 8 乃至 13 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 15】

前記制御手段は、前記ロック状態ではない前記撮影待機状態でのタッチ操作に応じて、前記撮像手段で撮像を行い記録媒体に画像を記録するまでの一連の撮影処理を行うように制御し、

前記ロック状態においては、タッチ操作があっても前記撮影処理を行わないように制御することを特徴とする請求項 8 乃至 14 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 16】

前記表示手段は、前記電子機器に対する位置が変更可能に接続され、前記表示手段の位置を検出する位置検出手段を有し、

前記ロック状態において、前記位置検出手段によって前記表示手段の位置が所定の位置にあることが検出されると、前記制御手段は、前記ロック状態を解除してタッチ操作に応じた機能を実行する状態に切り替えるように制御することを特徴とする請求項 1 乃至 15 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 17】

前記制御手段は、前記ロック状態において前記電子機器に外部機器が接続されたことが検出されると、前記ロック状態を解除してタッチ操作に応じた機能を実行する状態に切り替えるように制御することを特徴とする請求項 1 乃至 16 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 18】

タッチ検出面に対するタッチ操作を検出する検出手段と、前記タッチ検出面とは異なる位置の操作手段と、を有する電子機器の制御方法であって、

タッチ操作と前記操作手段に対する操作のいずれもが第 1 の期間行われなかったことに応じて、表示手段での表示を非表示とすることなく、タッチ操作に応じた機能の実行を制限するロック状態に切り替えるように制御する工程と、

前記ロック状態において、前記操作手段に対する操作を受け付けると、前記ロック状態を解除してタッチ操作に応じた機能を実行する状態に切り替えると共に、前記操作手段に対する操作に応じた機能を実行するように制御する工程と、を有することを特徴とする制御方法。

【請求項 19】

タッチ検出面に対するタッチ操作を検出する検出手段と、

前記タッチ検出面とは異なる位置の操作手段と、

撮像手段により撮像されたライブビュー画像を表示手段に表示するように制御する表示制御手段と、

ライブビュー画像を表示している撮影待機状態において、タッチ操作と前記操作手段に対する操作のいずれもが第 1 の期間行われなかったことに応じて、前記表示手段でのライブビュー画像の表示を非表示とすることなく、タッチ操作に応じた機能の実行を制限するロック状態に切り替えるように制御する制御手段と、を有することを特徴とする電子機器

。

【請求項 20】

タッチ検出面に対するタッチ操作を検出する検出手段と、前記タッチ検出面とは異なる位置の操作手段と、を有する電子機器の制御方法であって、

ライブビュー画像を表示している撮影待機状態において、タッチ操作と前記操作手段に対する操作のいずれもが第 1 の期間行われなかったことに応じて、表示手段でのライブビュー画像の表示を非表示とすることなく、タッチ操作に応じた機能の実行を制限するロック状態に切り替えるように制御する工程を有することを特徴とする制御方法。

【請求項 21】

コンピュータを、請求項 1 乃至 17、19 のいずれか 1 項に記載された電子機器の各手段として機能させるためのプログラム。

【請求項 22】

コンピュータを、請求項 1 乃至 17、19 のいずれか 1 項に記載された電子機器の各手

段として機能させるためのプログラムを格納したコンピュータが読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

上記課題を解決し、目的を達成するために、本発明の電子機器は、タッチ検出面に対するタッチ操作を検出する検出手段と、前記タッチ検出面とは異なる位置の操作手段と、タッチ操作と前記操作手段に対する操作のいずれもが第１の期間行われなかったことに応じて、表示手段での表示を非表示とすることなく、タッチ操作に応じた機能の実行を制限するロック状態に切り替えるように制御し、前記ロック状態において、前記操作手段に対する操作を受け付けると、前記ロック状態を解除してタッチ操作に応じた機能を実行する状態に切り替えると共に、前記操作手段に対する操作に応じた機能を実行するように制御する制御手段と、を有する。